

**製品名: HLA DMB (14D11) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12079**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:500
分子量	29kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HLA-DMB
別名	DMB; RING7;
遺伝子 ID	3109.0
SwissProt ID	P28068
免疫原	ヒト HLA DMB の合成ペプチド

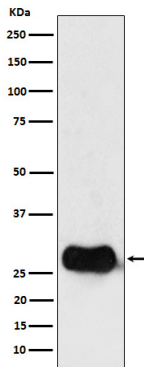
**背景**

HLA-DMBはHLAクラスIIβ鎖パラログに属します。このクラスII分子は、膜に固定されたα鎖(DMA)とβ鎖(DMB)からなるヘテロ二量体です。新しく合成されたMHCクラスII分子からクラスII関連不変鎖ペプチド(CLIP)を放出し、抗原ペプチドの獲得のためにペプチド結合部位を解放する上で重要な役割を果たします。B細胞において、HLA-DMとMHCクラスII分子の相互作用はHLA-DOによって制御されています。

## 研究分野

細胞接着分子(CAM)、抗原処理および提示、IgA産生のための腸管免疫ネットワーク、1型糖尿病、喘息、自己免疫甲状腺疾患、全身性エリテマトーデス、同種移植拒絶反応、移植片対宿主病、ウイルス性心筋炎。

## 画像データ



Raji細胞溶解物中のHLA DMB発現のウェスタンブロット分析。